NIE実践報告

１．タイトル：☆NIE授業～歴史新聞の作成

２．学校名

宮崎県立延岡星雲高等学校

３．実践者名（代表者名）

椎葉　理恵

４．学年

第1学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

世界史A　125人

６．単元（本時の学習課題）名

歴史新聞の作成

７．目標（狙い）

新聞がどのように構成されているかを理解したうえで、歴史的事項に興味関心をもち表現することができる。

８．評価の視点

資料の活用と歴史的事項に対する理解を評価する。最終的には、それぞれが作成した歴史新聞の内容で総合的に評価する。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

公民科現代社会との連携により、新聞を読む習慣づけを行い、新聞の構成を理解したうえで歴史新聞の作成。
授業時数としては2時間。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

まず、新聞に書いてあることの確認(地方紙、全国紙の違い等一面を中心に)。次に自分が歴史新聞を作成する際のテーマ(時代・人物)の選択。この際、教科書の中に載っているものを選ぶよう注意する。テーマの選択が終わると、次に自分の歴史新聞のレイアウトを作成(書かなければならないものの確認。a.新聞名、b.発行日、c.見出し、d.広告、e.その他一として4コママンガや天気予報など)。資料収集の時間は各自の夏休みを利用して行う。夏休み明けに報告会。「自分はどのような点に力を入れて新聞を作ったのか」を中心に分かりやすく発表することを心がけさせる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

全く新聞を読む機会のなかった生徒が授業後、「今後は新聞を読みたい」との感想。さらには、新聞にとって見やすさが大事だということに気づくことのできた生徒もいた。

12．成果と課題

最近は、携帯電話、インターネットの普及によって実際に新聞を手にしている生徒が減少しているように感じる。しかし、自分たちが新聞を作るという行動を体験したことによって、新聞に何が書いてあるのかを知り、また、新聞を読むことの楽しさを発見した生徒もいた。生徒たちの作成した新聞には、独特な広告、4コママンガ、写真の利用方法など様々な工夫が見られた。この歴史新聞作成をきっかけに、自宅や図書室で新聞を手にする生徒が増えていってほしい。